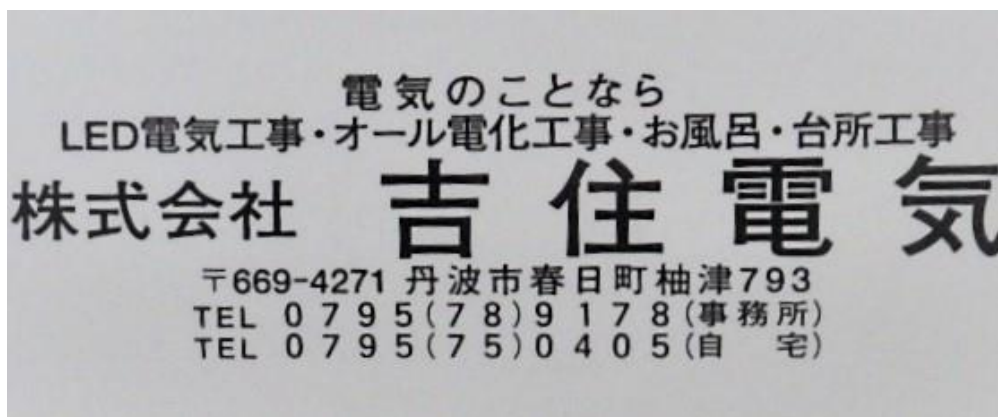


2023 年度 環境経営レポート

(対象期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)



株式会社吉住電気

発行日：2024 年 6 月 1 日

1. 組織の概要

- (1) 事業者名及び代表者氏名
株式会社吉住電気
代表取締役 吉住紀彦
- (2) 所在地
本社：兵庫県丹波市春日町柚津 793 番地
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 取締役社長 吉住紀彦
環境管理担当者 工事部部长 山本滋樹
連絡先：TEL 0795-75-0405
FAX 0795-75-1767
- (4) 事業の概要
電気工事業
- (5) 事業規模
年間売上高 185 百万円（2023／4 ～2024／3）

	本社	倉庫	合計
総従業員	7 人	0 人	7 人
延べ床面積	196.65 m ²	202.97 m ²	399.62 m ²
敷地面積	135.1 m ²	251.24 m ²	386.34 m ²

- (6) 建設現場等の概要（2023／4 ～2024／3）
元請工事 54 件
下請工事 59 件
- (7) 事業年度 4 月～翌年 3 月
- (8) 主な環境負荷の実績（2023 年度）

項目	単位	環境負荷の実績	主なもの
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	15,718	電力・ガソリン重機燃料
廃棄物排出量	トン	29.056	
一般廃棄物	トン	0.166	紙類・新聞紙・ダンボール
産業廃棄物	トン	28.89	廃プラ・鉄屑・紙くず・木くず
総排水量	m ³	399	

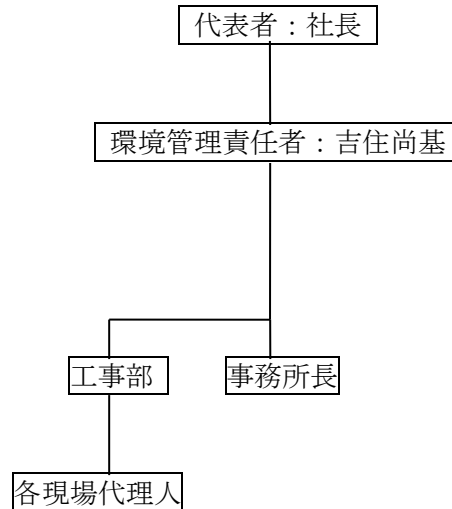
関西電力の二酸化炭素排出係数；0.334 kg-CO₂/kWh

0.334：「2018 年度関西電力の二酸化炭素排出係数、調整後」

2. 対象範囲（認証・登録範囲）

事業活動：電気工事業
対象事業所：本社

【推進組織図】



【適用範囲】

株式会社吉住電気本社、及び建設現場

【役割・責任・権限】

	役割・責任・権限
代表者(社長)	② 代表者として環境経営全般に関して責任と権限をもつ ②環境経営方針を策定し、従業員に周知させる ③資源（人・もの・金）の用意をする ③ エコアクション 21 全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する ④ 環境経営管理責任者を任命する ⑤ EA21 文書類の承認をする ⑥ 環境経営レポートを承認する
環境経営管理 責任者	① エコアクション 21 建設業向けガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる ② 上記の結果を社長に報告する ③ EA21 文書類の作成をする ④ 環境経営レポートを作成する
部門長及び 全従業員	① 自部門の環境経営目標、環境経営活動計画の達成と実績の把握を行う。 ② 環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営活動計画を部門全員に周知する ③ 自部門に関連する法規制等を順守する ④ 自部門の教育・訓練を実施する ⑤ 社内外の環境経営情報の収集と伝達をする ⑥ 自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する
各現場代理人	① 作業所における EA21 実行責任者を兼ねる。 ② 作業所の環境経営目標、経営活動計画の達成と実績の把握を行う。 ほか

3. 環境経営方針

株式会社吉住電気 環境経営方針

当社の経営理念の一つである「社会の向上と発展」に基づき、地球環境向上とクリーンな事業の発展を目指し、かつ建設工事現場においても環境美化の向上と資材のリサイクルの徹底に努めます。

1. 事業活動に伴う環境負荷の低減、並びに施工時における環境配慮に努めます。
 - (1) 電力及び燃料の使用による二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 水使用量の削減
 - (3) 廃棄物排出量の削減
 - (4) 環境に配慮した工事の推進
2. 関係する環境法規等及び地元との約束を遵守します。
3. 環境経営システムの継続的改善を図ります。
4. 本方針を全従業員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開します。
重要事項は：第1項(1)～(4)に示す

改訂日：2023年 3月 15日
株式会社吉住電気
代表取締役 吉住紀彦

4. 環境経営目標

当社における環境目標と実績は以下の通りです。

No.	環境経営目標	基準年度 2019 年度実績	2023 年度 目標	2024 年度 目標	2025 年度 目標
1	電力使用量の削減 (本社) ※1 (CO ₂ 排出量削減)	6,172 (kWh)	5,925.12 (△4%)	5,863.40 (△5%)	5,801.68 (△6%)
		2,061.45 (kg-CO ₂)	1,978.99	1,958.38	1,937.76
2	電力使用量の削減 (工事現場) ※1 (CO ₂ 排出量削減)	254 (kWh)	243.84 (△4%)	241.30 (△5%)	238.76 (△6%)
		84.84 (kg-CO ₂)	81.45	80.60	79.75
3	自動車燃料の削減 ガソリン (CO ₂ 排出量削減)	7,987.21 (ℓ)	7,667.72 (△4%)	7,587.85 (△5%)	7,508.00 (△6%)
		18,543.59 (kg-CO ₂)	17,801.85	17,616.41	17,430.97
4	重機燃料の削減 軽油 (CO ₂ 排出量削減)	260 (ℓ)	249.6 (△4%)	247.0 (△5%)	244.4 (△6%)
		682.33 (kg-CO ₂)	655.04	648.21	641.39
5	二酸化炭素排出量の削減 ※2	21,372.21 (kg-CO ₂)	20,517.32 (△4%)	20,303.60 (△5%)	20,089.88 (△6%)
6	産業廃棄物の削減 (リサイクル率向上)	95.5 (%) ※3	95.9 (%)	96.0 (%)	96.1 (%)
7	一般廃棄物排出量の削減	161.2 (kg)	151.53 (kg) (△6%)	149.92 (kg) (△7%)	148.30 (kg) (△8%)
8	水使用量の削減	421 (m ³)	395.74 (△6%)	391.53 (△7%)	387.32 (△8%)
9	問題発生を未然に抑える取組の推進	—	評価ポイント 90 ポイント (%) 以上	評価ポイント 90 ポイント (%) 以上	評価ポイント 90 ポイント (%) 以上

※1：電力の二酸化炭素排出係数：0.334 kg-CO₂/kWh

※2：灯油の値は含まれていない。(使用量が少ないため、目標に設定していない)

※3：産業廃棄物のリサイクル率の向上；再生量(6.0375t)÷発生量(6.32253t)＝95.5%

※4：化学物資の仕様はない

5. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営計画

No.	環境経営目標 (環境経営方針との 関連)	環境経営計画の概要	環境経営計画の実績 (2023/4～2024/3)		次年度の環境 経営計画
1	電力使用量の削減 本社 (CO ₂ 排出量削減)	・昼休みの消灯 ・空調設定温度の励行 ・部分消灯及びこまめな消灯 ・離席時のパソコン OFF	目標：1,978.99 (kg-CO ₂) 実績：1,597.86 (kg-CO ₂) 達成率：123.9% (○)	・空調温度を細かく調整し目標を達成した ・部分消灯及びこまめな消灯が徹底された	・社員に節電の意識を定着させていく ・現在の取組を継続する
2	電力使用量の削減 工事現場 (CO ₂ 排出量削減)	・空調設定温度の励行 ・部分消灯及びこまめな消灯 ・離席時のパソコン OFF	目標：81.45 (kg-CO ₂) 実績：0 (kg-CO ₂) 達成率：— % (—)	・使用していない	・該当なし
3	自動車燃料の削減 ガソリン (CO ₂ 排出量削減)	・急発進の防止 ・アイドリングストップ ・相乗りの徹底 ・適正空気圧の確保	目標：17,801.85 (kg-CO ₂) 実績：14,120.3 (kg-CO ₂) 達成率：126.1% (○)	・仕事量減少により燃料使用量も減少した。 ・エコドライブの意識が浸透した	・更に意識を徹底させる
4	重機燃料の削減 軽油 (CO ₂ 排出量削減)	・アイドリングストップ ・作業内容に応じたアクセルワークの実施	目標：655.04 (kg-CO ₂) 実績：0 (kg-CO ₂) 達成率：— % (—)	・高所作業車にて使用 ・年単位では特に問題なしと判断する	・現在の取組を継続する
5	二酸化炭素排出量 ※ 1		目標：20,517 (kg-CO ₂) 実績：15,718 (kg-CO ₂) 達成率：130.5% (○)		

6	産業廃棄物の削減 (リサイクル率向上)	- 建設現場での分別強化 - 金属くずの容器新設	目標：95.9 % 実績：84.0 % 達成率：87.6 % (×)	金属くずの仕分け処分が徹底されていない。	分別を更に徹底して金属くず容器を全現場に設置する
7	一般廃棄物排出量の削減	- コピー用紙の裏紙使用 - 一般廃棄物分別の徹底による再資源化の推進	目標：161.2 kg 実績：166.3 kg 達成率：96.93 % (×)	コピー用紙の裏紙使用を徹底する。	- コピー機に裏紙専用トレイを設ける。 - 紙リサイクルを調査し検討する。
8	水使用量の削減	- 流しっぱなしの防止 - 節水意識の向上 - 節水ステッカー貼付	目標：395.84 m ³ 実績：399.00 m ³ 達成率：99.2 % (×)	水道配管からの漏水により目標達成ならず。	- 漏水の検出方法を検討立案し実施する。 - 節水を呼びかけ徹底する。
9	問題発生を未然に抑える取組の推進	- 工事における下記の環境配慮活動の実施 (1) 騒音・振動の低減 (2) 水質汚濁の防止 (3) 大気汚染の防止 (4) 建設廃棄物のリサイクル	目標：90 (%) 実績：— (%) 達成率：該当なし (%) (—)	該当なし。	該当なし。
(実施体制) 変更しない					

(注；○；目標達成、 ×：目標未達成)

6. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

(1) 当社に適用される環境関連法規等の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例等を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。また関係当局より違反等の指摘も過去5年間ありません。

遵守評価日：2024年 4月 1日

No.	適用される法律名	順守すべき内容	遵守状況
1	廃棄物処理法	収集運搬・処分業者との適正な契約並びに業者の許可証有効期限の確認	遵守
		一般廃棄物の適正排出	遵守
		マニフェスト伝票の管理 (A, B, D, E)	遵守
		マニフェスト伝票の5年間保管	遵守
		廃棄物置場の表示と保管基準の遵守	遵守
2	騒音規制法	特定建設作業の届出 敷地境界線での規制基準 (騒音) 85 dBの遵守	該当なし
3	振動規制法	特定建設作業の届出 敷地境界線での規制基準 (振動) 75 dBの遵守	該当なし
4	建設リサイクル法	特定建設資材廃棄物の再資源化義務	該当なし
5	消防法	消火器の設置	遵守
		使用年月日の確認	遵守
6	建設業の再生資源利用省令	対象建設工事の届出	遵守
		再資源利用計画書実施の作成	遵守
7	自動車 Nox・PM 法	規制対象車両の登録禁止	該当なし
		規制対象車両の指定地域通行禁止	
8	自治体との災害時応援協定	災害発生時に応援派遣する	設備・体制 確認

(2) 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等に関して過去5年間に1件も発生しておりません。

7. 代表者による全体評価と見直し・指示

今後とも取り組んでいる内容を継続していき、さらに省電力化及びリサイクルについて特に協力に推進していく必要があるため社内・社外を通じて改善を勧める。

また社内の意識改革を行い取組目標に挑戦することが重要である。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標及び計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

(実施日) 2024年 4月 10日

代表取締役 吉住 紀彦